# ゆめみにゅーす

YUMEMI ZOO

季　　刊　VOL. 82
発 行 日　令和8年11月13日
発行責任者　夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ　044－588－4030
飼育展示数　哺乳類：20種133点
鳥　類：21種62点
爬虫類：9種92点
（令和8年10月末日現在）

## 最近の動物公園





寒さが苦手な動物は表に出ないこともありますが、これから活発になる種類の動物の、暖かい時期には見られなかった行動や姿を観察するチャンスです。







9 月に当園で飼育していたベトナムキジ最後の 1 羽が、また 10 月にエリマキキツネザルのユウトが死亡しました。いずれも高齢ながら、飼育担当に対して時に果敢に突っかかってくるベトナムキジ、スキンシップを求めて甘えてくるユウト、どちらも大きな存在感で長らく夢見ヶ崎動物公園を支えてくれました。可愛がっていただいた皆様、ありがとうございました。



＊公式 Twitter(X)はこちらから→

＊公式 Facebook はこちらから→

## ★ピックアップ動物★　ロバ

**哺乳綱　奇蹄目　ウマ科**



2022 年生まれのロバのオス、バロンです。やんちゃ盛りの若者なお年頃なのですが、いたずら大好き・人間も大好きで自己主張も激しく、まだまだ子どもな面が強いわんぱく坊主です。機嫌の悪い時は耳を伏せ、良い時は耳がまっすぐ上にピンと立ち、表情も分かりやすく変わります。

ボールをくわえて激しく振って遊んだり、グラウンドを走り回ったり、柵の上に頭を載せて園路を通るお客さんや職員を眺めたり、近くにいる職員が油断しているとみるや背後から噛み付くいたずらを仕掛けたり…。天真爛漫に振る舞う一方、実は怖がりな一面もあり、濡れて光が反射している地面は怖くて歩けなかったり、マンホールをまたいだ後に、自分の足の下にマンホールがあることに気付いてびっくりして飛び上がったり。

そんなバロンの日課のひとつが運動不足やストレス解消のため、園内を職員と一緒に引き馬で歩く散歩です。天候や体調などによって実施しない日があったり、時間帯が変わったりすることがありますが、大体 14:00 頃園内のどこかを歩いていることが多いので、出会ったら声を掛けてあげてください。お客さんに声をかけられるとご機嫌になることが多いので、その反応を観察してみるのも面白いと思います。ただし、毎回反応するとは限りません。聞こえているのに無視することもある、思いどおりにならない頑固者なところもロバらしさです。

## 獣医の日記

この夏、ハクビシンのうち 1 頭がしばらく入院していました。尿の出口近くにできてしまった大きな腫瘍の治療のためです。腫瘍はかなり大きく、正常な臓器とガッチリくっついてしまっている部分があり、手術自体も大変だったのですが、実は本当に大変だったのはその後でした。

手術の影響で、尿がうまく出なくなってしまったのです。尿が全く出なくなった場合、1 日で命の危険が生じます。このような手術の後に一時的に尿が出にくくなることはあり、対処法として機能が回復するまで膀胱や尿道に管を入れて排泄させるのですが、ハクビシンがおとなしく管を入れっぱなしにさせてくれることはなく、入れた管はすぐに引っ張り出し、いじらないように着せた腹巻きや術後服はビリビリに破き、そのうち手術の傷もいじり始める…というハクビシンならではの暴れん坊っぷりを発揮。毎日押さえて尿を絞り出し、傷を消毒して…とこちらもいつ終わるのか分からない綱渡りのような心境でひたすら必死にやっているうちに、自然に尿が出るようになり、その頃には手術の傷も治って、無事退院となり、嵐のような日々が終わりました。

今は全く手術の影響もなく元気に過ごしているのを見て、ハクビシンの生命力の強さに感服しています。

**★動物たちの主な移動（令和8年8月1日～令和8年10月31日）★**
**オグロプレーリードッグ（♀1 死亡）、ホンシュウジカ（♂4♀1 繁殖、♂5♀1死亡）、ベトナムキジ（♀1 死亡）、テンジクネズミ（♀2死亡）、マーコール（♂1♀1 死亡）、クロシロエリマキキツネザル（♂1 死亡）、ヤギ（♂1 繁殖）**